

通称:かさまあつわ

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 39

プロフィール やなぎさわ あきら 柳澤 明 (58歳) 埼玉県より移住

栗、そしてアグリツーリズム

笠間が全国有数の栗の産地であること、また食卓に上るまで、病虫害の防除、剪定、草刈り、栗拾い、選別、皮むき等々さまざまな苦労があることを知りませんでした。実際に栗を拾って甘露煮を作ってみて「全部は拾いきれない」、皮むきも熟練の技があってこそと実感しました。また、新栗まつりの会場内の盛り上がりを見て、栗に関係している皆さんのご苦労が報われていることをうれしく思う反面、笠間の栗の底力がさらに発揮されるようお手伝いできればと思います。

さて、笠間は都心からも1時間程度、駅から少し移動するだけで豊かな里山の自然、農村風景に出会えるアグリツーリズムに格好の土地です。写真は、活動の中でご縁ができた早朝のワイナリーからの風景です。写真ではよくわかりませんが、朝もやの中に虹が出ているこの景色だけでも大変な財産だと思います。笠間版のアグリツーリズムの可能性について、いろいろお話できればと思います。気軽に呼び止めてください。



「かさちよこHOUSE」の栗



笠間の朝もやと虹 (右端がワイナリー)

地域おこし協力隊とは



地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
ご覧ください facebook▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課 (内線538)

Jordan's ジョーダンスビュー vol.11 View

秋も深まり、だんだんと冬が近づいてきましたね。私は大切な祝日がたくさんある冬が大好きです。今回は、私が特に好きな感謝祭について紹介します。

「感謝祭」(Thanksgiving) は初めての収穫を記念する祝日です。1620年11月、メイフラワー号に乗って、イギリスから北アメリカ大陸に移住したピルグリム(清教徒)の初めての冬はとても厳しいものでした。インディアン(アメリカ先住民)が、食べ物や作物の種などを分け与え、アメリカの大自然の暮らしのさまざまなコツ・狩猟などのノウハウを教えてくださいました。翌年の収穫が成功しました。神に感謝を捧げる祝宴に、お世話に

なったインディアンを招待してご馳走をしたのが始まりであるといわれています。

アメリカでは、感謝祭は11月第4木曜日に行われます。家族や親戚が集まって、夕食に七面鳥やマッシュポテト、食後にパイを食べます。食事をしながら、一人ひとり「I'm thankful for my family」など、感謝していることを伝えるのも定番の過ごし方です。

私は、家族が集まりおいしいご馳走を食べながら日常生活の幸せに感謝するこの日が大好きです。今年の感謝祭は家族と離れて過ごしますが、ビデオ通話するつもりです! See you next time!

笠間市国際交流員 ジョーダン

10秒でわかる!? 英語表現

“Cold turkey”

コールドターキー (すっぱりやめる)

この表現を直訳すると「冷たい七面鳥」になりますが、ドラッグ、お酒、タバコ、チョコレート、テレビ中毒など、「良くない習慣をすっぱりやめる」という意味です。stop, go, quitなどの動詞と組み合わせてcold turkeyを副詞として使います。

I've decided to quit smoking cold turkey. (即座にタバコをやめることにした。)



大人のためのEnglish BBQ

笠間市国際交流員 (CIR : Coordinator for International Relations)

JETプログラム(語学指導を行う外国語青年招致事業)で派遣され、英語教育と市の国際化に関わる活動に取り組んでいます。